

高浜市立吉浜小学校



〈ワークショップの様子〉



〈久野弘幸先生による講話〉

＜１月２７日＞

愛知教育大学准教授の久野弘幸先生を現職教育研究会にお招きし、今年度の授業づくりを含めた主題研究の取り組みについて指導・助言をいただきました。

まず、全職員が参加し、今までの取り組みを各学年ごとにワークショップ形式で振り返りをしました。今年度の成果と次年度の自己の成長につながる課題を模造紙にまとめたものを発表し、成果と課題を共有しました。各学年の発表をもとに、久野先生からここまでの取り組みについて、総括していただくとともに、次年度への授業づくりの方向を示していただきました。全員で振り返りをしたことで、職員の共通理解が図られ、具体的に取り組んできたことに対して久野先生より貴重なご示唆をいただき、たいへん有意義な現職教育をもつことができました。指導・助言いただいた一部を紹介します。

- ① 今まで取り組んできたことを振り返ることはとても大切なことです。振り返ることにより、課題が出てきます。課題をもつことは前向きな成長であり、次への指針となります。また、苦勞して取り組んできたのだから、自己評価を積み上げることも大事なことです。
- ② ２１世紀型の学びとして、ラーニングコミュニティ（学び続ける仲間、学び合う専門集団）で、できたことを共有することが大切です。そのために、個人が技能を高め、子どもを見る力や技、能力を伸ばしていくこと、チームとして、価値や成果を確認していくこと、そして自分の人生を豊かにしていくという３点をご示唆いただきました。